



岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

令和6年 1月 11 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ オカヤマシキョウヤマチクイーエスディエスディーゾーススイシンキョウギカイ

団体名 岡山市京山地区ESD・SDGs推進協議会

所在地

連絡先

フリガナ

代表者氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	「やさしく走ろう京山」運動の推進
事業実施区域(小学校区)	伊島小学校区、津島小学校区
事業実施回数	新規 ・ 継続 10回目(平成27年度から)
課題	京山地区ESD・SDGs推進協議会は毎年、ESD・SDGsフェスティバルにおいて地域課題を論議している。平成27年の第10回フェスティバルでは「自転車マナー」が京山地区の最大の課題であると指摘された。それ以後、地域の絆プロジェクト企画委員会を中心として、「やさしく走ろう京山」運動を展開し、「自転車マナー問題」の解決を目指している。
事業の目的	地域住民の生活が安全・安心であることは最も大切なことの一つである。京山地区ESD・SDGs協議会では、ESD・SDGsの視点から見た京山地区の特徴を取りあげて検討し努力している。 ①京山地区の地域課題ランキングの第1位の「自転車のマナーの改善」、「やさしく走ろう京山」運動に取り組み、京山地区が安全で安心できる地域を作っていく。 ②「やさしく走ろう京山」運動を通して、“自転車先進都市おかやま”をめざす先進的な取り組みにする。 ③この運動を通して、SDGs目標11の「住み続けられるまちづくり」を京山地区で一歩進める。

事業の内容	・ 昨年からの重点課題である、ヘルメット着用が努力義務化に対する取り組みを行う。前年は、「自転車マナー向上協働行動」でヘルメット着用義務化のチラシを配布したり、交通安全教室などで他団体とも協力しながら積極的な着用を呼びかけた。この取り組みをさらに進めたい。 ・ 今まで同様に伊島、津島小学校、京山中学校への積極的な働きかけを行う。 ・ 「やさしく走ろう京山」運動の認知度を小中学生に深めるために、「やさしく走ろう京山」の啓発プレート、啓発ステッカー、さらに宣伝のためのロゴの入ったクリアホルダーなどを児童、生徒に配布し、「やさしく走ろう京山」の文字・ロゴの“見える化”を続ける。 ・ 伊島小学校、津島小学校、京山中学の児童、生徒あてに「やさしく走ろう京山」運動についての意識を深めるアンケートを実施する。 ・ 伊島、津島小学校の交通安全教室が開催された時には、出向いて、「やさしく走ろう京山」運動の趣旨を伝える。 ・ 京山地域住民に対しては、「やさしく走ろう京山」運動のポスターを公民館、交番、各学校、町内会など、京山地区の様々な場所に掲示する。啓発プレート、啓発ステッカー、ポスターを公民館などに常時置く。 ・ 「自転車マナー向上交通教室」を開催する。 ・ 岡山大学前交差点での「自転車マナー向上協働行動」を実施する。 ・ 伊島学区、津島学区、隣接する御野学区、岡山大学事務局、岡山大学のボランティア学生組織「岡山大学地域つながり隊」、岡山西警察署、岡山市の自転車都市推進担当課などとの協働を行い、「自転車先進都市おかやま」のモデル事業をめざす。できれば「やさしく走ろうおかやまプロジェクト」に着手したい。 ・ 地域の絆プロジェクトだよりを発行し、「やさしく走ろう京山」運動の啓発を促す。 ・ この運動を新聞・テレビなど地域のマスコミにアピールする。
期待される成果・目標	・ ヘルメットの着用が増えることにより、自転車乗車時の安全性がより高まる。 ・ 「やさしく走ろう京山」を広げ、啓発プレート・ステッカーを付けること、ポスター、のぼりなどによって自転車マナー意識の向上を行い、歩行者、自転車通行者、車両、誰もが安心して通行できる地域になること。 ・ 「やさしく走ろう京山」運動を発端とし“自転車先進都市おかやま”への取り組みが進む。 ・ 各小学校児童、京山中学校生徒へのアンケートを実施した結果、「やさしく走ろう京山」運動の認識度”知っている“を50%以上にする。
企画などの工夫	・ ヘルメット着用の努力義務化に伴い、取り組み方法を工夫・検討して取り組む。 ・ 「やさしく走ろう京山」の文字・ロゴの“見える化”を進める。 (プレート、ステッカーポスター、のぼり、クリアファイルなど) ・ 現在協働行動ができている、隣接の御野学区、岡山大学・岡山市の自転車都市推進担当課など関係団体と協働行動をさらに強める。また、この協働行動を「自転車先進都市おかやま」をみすえて、「やさしく走ろうおかやまプロジェクト」に着手したい。
協働する団体等	・ 岡山市立伊島小学校 ・岡山市立津島小学校 ・岡山市立京山中学校 ・御野学区各種団体 ・ 岡山大学・岡山大学地域つながり隊 ・岡山市自転車都市推進担当課などの関係各課 ・ 京山中学校区各町内会 ・伊島・津島学区コミュニティ協議会 ・ 伊島・津島学区交通安全対策協議会 ・伊島・津島学区交通安全母の会 ・ 伊島・津島学区安全安心ネットワーク・伊島・津島学区老人クラブ ・ 明誠学院高等学校、岡山工業高等学校 ・岡山商科大学付属高等学校

事業の 情報公開	・「地域の絆プロジェクトだより」（年4回発行）を地域の全戸に配布（約1万世帯） ・京山地区ESD・SDGs推進協議会や京山地区地域安全パトロール隊、参加団体への取り組み説明。 ・オニビジョン、山陽新聞などマスコミ関係に積極的に呼びかけ。
学区 地区 への 広がり	・ヘルメット着用の努力義務化に伴い、京山地区の住民にその趣旨の徹底、啓発を行う。 ・ポスター掲示、のぼりの設置を充実させる。 ・「自転車マナー向上協働行動」を軸に他地区、岡山市全体への働きかけをし、「やさしく走ろうおかやまプロジェクト」に着手したい。
前年度 からの 見直し 拡充点	・伊島、津島小学校児童、京山中学校生徒へのアンケートを実施し、“「やさしく走ろう京山」運動を知っている”を現在約41%から50%以上に高める。“聞いたことがある”を含めて85%から90%とする数値目標を掲げる。 ・家族のヘルメット着用を小中学生の認識では35%にとどまっているが、50%以上にし、ヘルメット着用が常識という気運を作り出したい。 ・「自転車マナー向上協働行動」を各学期1回の開催を定着させたい。「やさしく走ろうおかやま」のステッカーの作成、配布などの「やさしく走ろうおかやまプロジェクト」に着手したい。 ・審査会委員の方から「駐輪マナー」「自転車の盗難」も考える企画をとのご意見をいただきました。取り組みができていませんが、ステッカー、プレートをつけた自転車では「駐輪マナーの向上」「盗難防止」に一役買っているのではないかと自負しています。この2点も積極的にアピールしていいかと考えています。
次年度 以降の 予定	① 次年度以後の活動計画 ・「やさしく走ろう京山」運動についての認知度を地域住民、小中学生に深めるために、ポスター、のぼり旗による呼びかけを行う。 ・啓発プレート、ステッカー配布を積極的に進め、「自転車マナー」向上の意識を高めたい。 ・「やさしく走ろうおかやまプロジェクト」に着手できればと考えています。 ② 資金の確保について ☒ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐ () 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 ○ 資金確保の具体的な方策： 協賛金・協力金募集の趣意書を配布し、参加団体などに呼びかけ、資金確保に努める。 また、引き続きこくみん共済からの補助金を得る。
その他PR したい点	・審査員の方から、「自転車事故が多くなっている現在、地域全体で安心して通行できるような取り組みをしているのは良いと思います」「継続は力なり」運動の継続が重要」と評価をいただいています。令和6年度以降も啓発プレート、ステッカー、クリアホルダー「やさしく走ろう京山」の配布、ポスター掲示の依頼、「地域の絆プロジェクトだより」の発行を引き続き続けていく。 ・御野学区、岡山大学との協働行動「自転車マナー向上協働行動」は学区を超えたという点で画期的なことだと考えているこれをさらにすすめ、「やさしく走ろうおかやまプロジェクト」に着手したい。 ・自転車乗車時のヘルメット着用が、常態化するように、様々な団体と連携して協働行動を強化したい。

事業スケジュール 随時、プレート、ステッカー、ポスター配布

月日	活動内容
4月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 交通安全週間 ポスターを関係機関へ配布 伊島小学校 自転車教室、プレート、ステッカー配布
5月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「自転車マナー向上協働行動」の実施 伊島認定こども園へプレート、ステッカー配布 ポスターを関係機関へ配布
6月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「地域の絆プロジェクトだより」配布 津島小学校 自転車教室、プレート、ステッカー配布
7月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山中学校へプレート、ステッカー配布 京山中学校でのアンケート調査
8月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会
9月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「自転車マナー向上交通教室」開催 交通安全週間 「地域の絆プロジェクトだより」配布 ポスターを関係機関へ配布
10月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「自転車マナー向上協働行動」の実施 地域のイベントで啓発プレート、ステッカー、ポスター配布
11月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会
12月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「地域の絆プロジェクトだより」配布
1月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山地区ESD・SDGsフェスティバル 「自転車マナー向上協働行動」の実施
2月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「やさしく走ろう京山運動」企画委員会
3月	京山地区ESD・SDGs推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「地域の絆プロジェクトだより」配布

収支予算書

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	200,000	200,000	
実施団体負担金	35,000	35,000	京山地区ESD・SDGs推進協議会
参加者負担金			
協賛金	45,000	45,000	交通対策協議会・安全安心ネットワーク等
寄附金、他収入	120,000	120,000	
収入合計	400,000	400,000	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	222,830	217,300	啓発プレート・ステッカー・のぼり作成代 地域の絆だより用紙代
②食糧費	4,470	10,000	活動スタッフ 飲み物代
③印刷製本費	172,700	172,700	クリアホルダー、ポスター 増刷
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費			
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料			
⑮旅費			
小計(①)	400,000	400,000	
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経費			
小計(②)			
支出合計(①+②)	400,000	400,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する ・ ○希望しない
----------------	---------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。